

## 中長期戦略 環境

環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定し、2050年にJR西日本グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量「実質ゼロ」をめざします。また気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言へ賛同を表明し、提言に基づく情報開示を行います。

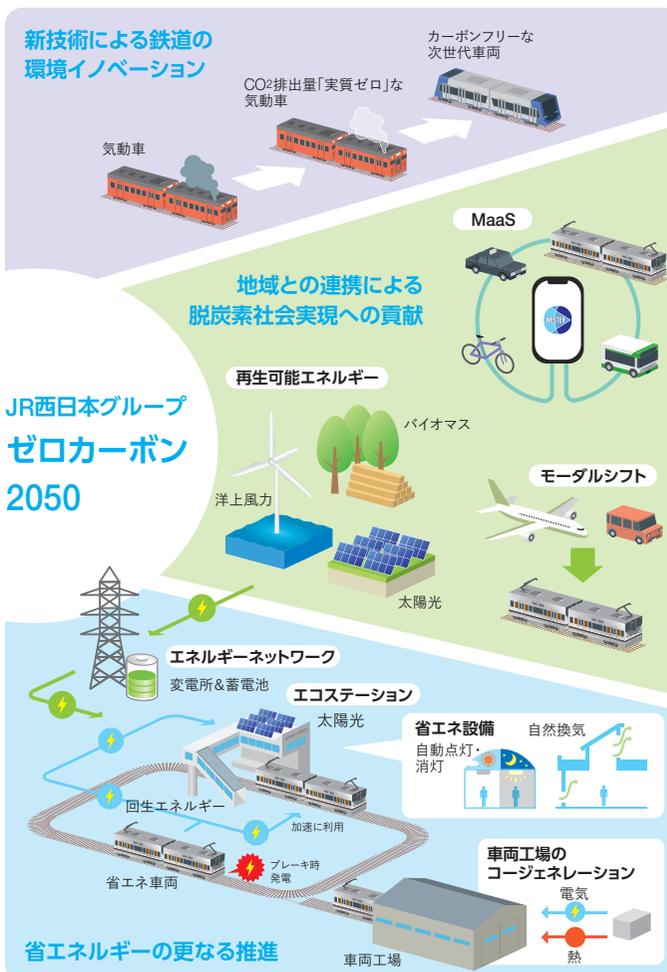
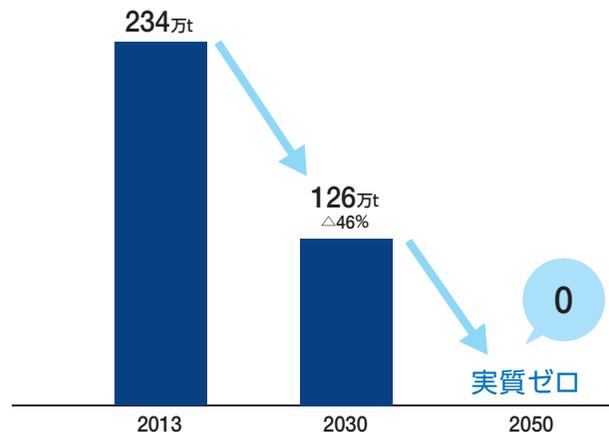
### 環境長期目標「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」

2050年にJR西日本グループ全体のCO<sub>2</sub>排出量「実質ゼロ」をめざします。  
その達成に向け2030年度にCO<sub>2</sub>排出量46%削減(2013年度比)をめざします。

#### 達成に向けた具体的取組み

- 新技術による鉄道の環境イノベーション
  - 次世代バイオディーゼル燃料による気動車のCO<sub>2</sub>排出量「実質ゼロ」の実現をめざす
  - 将来的にはカーボンフリーの次世代車両への転換の検討
- 省エネルギーのさらなる推進
  - 省エネ車両100%化等
- 地域との連携による脱炭素社会実現への貢献
  - 鉄道を含む公共交通機関全体として、グリーンでスマートな交通をめざし、運輸部門全体のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献
  - 洋上風力発電にも注目し、さらなる再生可能エネルギー事業への参画を検討

CO<sub>2</sub>排出量



### TCFD提言への賛同

TCFDによる提言に賛同し、  
提言に基づく情報開示を行います。

- ガバナンス
  - 代表取締役社長を委員長とする「地球環境委員会」を設置(1998年)
- 戦略(リスクと機会)
  - 2℃シナリオに基づく定性分析の結果を開示
- リスク管理
  - リスクと機会への対応の検討を進めていく
- 指標と目標
  - 「JR西日本グループ ゼロカーボン2050」を策定

### 環境目標

「JR西日本グループ中期経営計画2022」にあわせて設定した環境目標達成に向け、鉄道車両・駅設備などのさらなる省エネルギー化や列車運行時の省エネルギー運転の推進、循環型社会の構築に向けたリサイクルを中心に取り組みを推進しています。

環境目標項目	2019年度実績	2022年度目標	
(I) エネルギー消費原単位(2013年度比)※	△4.1%	△3%	
(II) 省エネルギー車両比率	89.2%	88%	
(III) 駅ごみ・列車ごみ(資源ごみ)リサイクル率	99.3%	96%	
(IV) 鉄道資材発生品リサイクル率	(IV)-I 設備工事	98.6%	97%
	(IV)-II 車両	95.5%	92%
(V) 環境に配慮した駅および業務用施設の推進			

※ 車両1両を1キロ走行させるために必要なエネルギー